



2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月6日
東

上場会社名 BEENOS株式会社 上場取引所
コード番号 3328 URL <https://www.beenos.com>
代表者(役職名) 代表取締役 執行役員社長 (氏名) 直井 聖太
問合せ先責任者(役職名) 執行役員 (氏名) 松田 久典 TEL 03-6859-3328
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	20,367	△7.7	1,424	△46.6	1,482	△37.8	1,685	35.0
2023年9月期第3四半期	22,075	2.4	2,667	365.3	2,384	373.5	1,248	—

(注) 包括利益 2024年9月期第3四半期 2,064百万円(—%) 2023年9月期第3四半期 △3,419百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	139.10	134.31
2023年9月期第3四半期	100.76	95.85

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期第3四半期	30,405	14,867	48.3	1,207.23
2023年9月期	27,911	13,010	45.8	1,060.34

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 14,675百万円 2023年9月期 12,789百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	27.00	27.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	24,500	△24.6	2,100	△53.4	1,800	△55.6	1,560	△29.0	128.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 一社(社名) 、除外 2社(社名) 株式会社デファクトスタンダード、JOYLAB株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年9月期3Q	12,931,295株	2023年9月期	12,876,995株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年9月期3Q	775,062株	2023年9月期	814,966株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年9月期3Q	12,115,634株	2023年9月期3Q	12,386,346株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 信託型従業員持株インセンティブ・プラン(E-Ship)の導入により、期末自己株式数には、BEENOS従業員持株会専用信託が保有する当社株式を含めております(2023年9月期 8,300株)。また、同信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループは、テクノロジーの力とこれまでに培ったグローバルコマースの知見をいかし、人・モノ・情報とグローバルコマース市場を繋ぎ、新しい常識や可能性を提供し続ける「グローバルプラットフォーマー」を目指しております。

今期は各事業領域において「グローバルコマース：AIを用いたBuyeeサービスの改善とオペレーションコストの低減、積極的なプロモーション展開による流通拡大」、「エンターテインメント：オペレーションのシステム化（自動化）を進めることによる利益率の改善」をそれぞれ目指しております。

当第3四半期連結累計期間においては、Eコマース事業においては、グローバルコマース部門は、キャンペーン効率化のためにクーポン配布方法のパーソナライズを推進し、流通総額、営業利益ともに大きく伸長しました。エンターテインメント部門は、当社の取り扱うアーティストのイベント開催およびGroobee（グルービー）の導入先のグッズ販売が好調で流通総額が堅調に推移しました。また、バリューサイクル部門は、2024年4月30日付「（開示事項の経過）連結子会社の異動（株式譲渡）完了並びに特別利益計上見込みに関するお知らせ」で開示しました通り、本セグメントを構成する2社の譲渡が完了しております。よって、本セグメントは第2四半期連結累計期間をもって当社の連結の範囲から除外されております。

インキュベーション事業においては、営業投資有価証券の売却はなく、受取配当金のみ計上している一方で、営業投資有価証券の評価による引当及び減損が発生しました。

また、バリューサイクル部門の株式譲渡に伴い、当第3四半期に約10億円の特別利益を計上しておりますが、最終的な特別利益の金額につきましては株式譲渡契約に定める価格調整等を経て決定されるため、当期中に調整金額が計上される見込みです。

その結果、当第3四半期連結累計期間の流通総額（国内外における商品流通額）につきましては85,670百万円（前年同期比21.4%増）、売上高は20,367百万円（前年同期比7.7%減）、営業利益は1,424百万円（前年同期比46.6%減）、経常利益は1,482百万円（前年同期比37.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,685百万円（前年同期比35.0%増）となりました。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりであります。

①Eコマース事業

i) グローバルコマース

「海外転送・購入サポート事業（FROM JAPAN）」におきましては、Buyeeにおいて引き続き国内提携パートナーと共同で積極的なキャンペーンを実施し、流通総額の伸長に大きく寄与しました。また、キャンペーンの実施方法を前期の幅広いユーザーを対象とした大規模なクーポン配布から、ユーザーの購入頻度や商品カテゴリー別のクーポンとするなど、ターゲット毎の効率的なクーポン配布に切り替えました。

サービスの改善も引き続き進めており、当第3四半期には「ECMS Express」のBuyee独自プランの対象国にオーストラリアとマレーシアを追加し、同地域のユーザーにより安価な配送手段を提供しています。

また、AIを用いて、Buyeeサイトのデザイン変更といった改善を進めるとともに、今まで人の手で行っていたメッセージ対応などを自動化したことでオペレーションコストの削減に繋がり、同時にサーバー費用の低減施策を実施したことで、上記のキャンペーンの効率化と合わせ流通総額対比の営業利益率が改善しました。

さらに、既存のECサイトへのタグ設置のみで海外販売を可能にする越境購入サポートサービス「Buyee Connect」では、当第3四半期に株式会社ゴルフ・ドゥの運営するゴルフ用品の買取・販売ECサイト“ゴルフドゥ！オンラインショップ”に導入されるなど、導入企業が拡がりました。

「グローバルショッピング事業（TO JAPAN）」におきましては、ショッピングサイト「セカイモン」においてキャンペーン施策やSEO対策をはじめとしたマーケティング施策を引き続き行い流通の拡大を図りましたが、為替が円安傾向であったことが影響し、流通総額が減少しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の流通総額は66,724百万円（前年同期比33.8%増）、売上高は10,787百万円（前年同期比21.3%増）、営業利益は3,276百万円（前年同期比16.3%増）となりました。

ii) エンターテインメント

「エンターテインメント事業」におきましては、当社の取り扱うアーティストにおいてコンサートや公演の実施によるグッズ販売が堅調に推移しました。

エンターテインメント業界向けに特化したECプラットフォーム「Groobee」は、当第3四半期に新たに株式会社マセキ芸能社のECショップ“マセキ オフィシャル グッズ ショップ”の制作・運営サポートを開始するなど、導入企業が順調に増加するとともに、既に導入されているECショップにおいてもグッズ販売が好調に推移し流通総額が増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の流通総額は10,224百万円（前年同期比6.0%増）、売上高は975百万円（前年同期比6.8%増）、営業損失は105百万円（前年同期は営業損失165百万円）となりました。

iii) バリューサイクル

「ブランド・アパレル買取販売事業」および「酒類の買取販売事業」の譲渡が完了したことに伴い、本セグメントは第2四半期連結累計期間をもって当社の連結の範囲から除外されております。なお、当第3四半期連結累計期間の流通総額は8,267百万円（前年同期比20.4%減）、売上高は8,387百万円（前年同期比19.9%減）、営業損失は63百万円（前年同期は営業損失17百万円）となっております。（前期第3四半期連結累計期間の金額と当期第2四半期連結累計期間の金額を比較）

Eコマース事業全体では、当第3四半期連結累計期間の流通総額は85,168百万円（前年同期比21.9%増）、売上高は20,151百万円（前年同期比0.6%減）、営業利益は3,107百万円（前年同期比17.9%増）となりました。

②インキュベーション事業

インキュベーション事業におきましては、当第3四半期に当社及び当社の連結子会社が保有する営業投資有価証券からの受取配当として約83百万円を計上しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は86百万円（前年同期比94.5%減）、営業損失は185百万円（前年同期は営業利益1,455百万円）となりました。

③その他事業

海外の大手マーケットプレイスへの日本企業の出店を支援する「越境EC支援事業」につきましては、引き続き“Shopee”や“eBay”などの海外マーケットプレイスへの出店、カスタマーサポート、海外配送対応、決済対応など幅広いサービスをワンストップで提供しております。また、韓国商材の取り扱いに関しても現地パートナー企業と様々な取り組みを進めており、韓国マーケットプレイスと日本のマーケットプレイスの商材を繋ぐプロジェクトなどを実施しています。

「トラベル事業」においては、サービスごとの運営状況を考慮し一部縮小も進めています。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の流通総額は589百万円（前年同期比37.5%減）、売上高は558百万円（前年同期比1.4%減）、営業損失は696百万円（前年同期は営業損失689百万円）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

①財政状態の分析

(i) 資産

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ2,493百万円増加し、30,405百万円となりました。

内訳といたしましては、流動資産合計が25,839百万円となり、前連結会計年度末と比べ3,106百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金5,524百万円、未収入金1,052百万円の増加、商品2,303百万円、受取手形及び売掛金924百万円の減少となります。

また、固定資産合計は、4,565百万円となり、前連結会計年度末と比べ612百万円の減少となりました。その主な要因は、建物及び構築物322百万円、投資その他の資産のその他に含まれる敷金217百万円の減少であります。

(ii) 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比べ637百万円増加し、15,538百万円となりました。

内訳といたしましては、流動負債合計が14,840百万円となり、前連結会計年度末と比べ780百万円の増加となりました。その主な要因は、預り金1,635百万円、未払法人税等653百万円の増加、短期借入金1,200百万円、未払金394百万円の減少であります。

一方、固定負債合計は、697百万円となり、前連結会計年度末と比べ143百万円の減少となりました。その主な要因は、長期借入金285百万円の増加、繰延税金負債242百万円、資産除去債務163百万円の減少であります。

(iii) 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比べ1,856百万円増加し、14,867百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金1,359百万円、為替換算調整勘定487百万円の増加であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,648	16,172
受取手形及び売掛金	1,367	442
営業投資有価証券	3,998	4,014
商品	2,650	347
未収入金	1,211	2,264
その他	2,929	2,597
貸倒引当金	△73	—
流動資産合計	22,733	25,839
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	783	237
減価償却累計額	△439	△215
建物及び構築物（純額）	344	21
工具、器具及び備品	271	204
減価償却累計額	△196	△158
工具、器具及び備品（純額）	75	45
その他	42	40
減価償却累計額	△19	△17
その他（純額）	22	23
有形固定資産合計	442	90
無形固定資産		
ソフトウェア	297	240
その他	0	—
無形固定資産合計	297	240
投資その他の資産		
投資有価証券	2,983	3,043
繰延税金資産	910	1,007
その他	544	184
投資その他の資産合計	4,438	4,234
固定資産合計	5,178	4,565
資産合計	27,911	30,405

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54	76
短期借入金	4,250	3,050
1年内返済予定の長期借入金	647	540
未払金	6,822	6,427
預り金	996	2,632
未払法人税等	254	908
その他	1,034	1,205
流動負債合計	14,060	14,840
固定負債		
長期借入金	300	585
繰延税金負債	295	52
資産除去債務	223	59
その他	22	—
固定負債合計	841	697
負債合計	14,901	15,538
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,775	2,812
資本剰余金	2,954	2,976
利益剰余金	7,256	8,615
自己株式	△1,566	△1,478
株主資本合計	11,421	12,927
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△215	△323
為替換算調整勘定	1,584	2,071
その他の包括利益累計額合計	1,368	1,748
新株予約権	220	191
純資産合計	13,010	14,867
負債純資産合計	27,911	30,405

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2024年6月30日)
売上高	22,075	20,367
売上原価	10,920	11,228
売上総利益	11,154	9,139
販売費及び一般管理費	8,486	7,714
営業利益	2,667	1,424
営業外収益		
受取利息	3	14
持分法による投資利益	—	59
投資事業組合運用益	—	79
助成金収入	1	0
受取保証料	14	3
その他	26	35
営業外収益合計	45	193
営業外費用		
支払利息	13	12
持分法による投資損失	203	—
為替差損	90	104
支払手数料	1	—
投資事業組合運用損	18	—
その他	1	18
営業外費用合計	328	134
経常利益	2,384	1,482
特別利益		
関係会社株式売却益	—	1,003
新株予約権戻入益	5	30
特別利益合計	5	1,033
特別損失		
固定資産除却損	10	—
減損損失	139	—
特別損失合計	149	—
税金等調整前四半期純利益	2,240	2,516
法人税、住民税及び事業税	972	1,237
法人税等調整額	19	△406
法人税等合計	992	831
四半期純利益	1,248	1,685
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,248	1,685

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	1,248	1,685
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,765	△107
為替換算調整勘定	99	472
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	14
その他の包括利益合計	△4,667	379
四半期包括利益	△3,419	2,064
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,419	2,064
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	Eコマース事業				インキュ ベーション 事業	その他事 業	合計		
	グローバ ルコマー ス	バリュー サイクル	エンター テインメ ント	小計					
売上高									
顧客との契 約から生じ る収益	8,871	10,399	913	20,184	—	315	20,499	—	20,499
その他の収 益(注) 1	—	—	—	—	1,575	—	1,575	—	1,575
外部顧客へ の売上高	8,871	10,399	913	20,184	1,575	315	22,075	—	22,075
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	24	73	0	97	—	251	348	△348	—
計	8,895	10,472	913	20,281	1,575	566	22,424	△348	22,075
セグメント利 益又は損失 (△)	2,816	△17	△165	2,634	1,455	△689	3,400	△732	2,667

(注) 1. その他の収益には、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号)に基づく営業投資有価証券に関する収益が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△732百万円には、セグメント間取引の消去△36百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益252百万円及び全社費用△948百万円が含まれております。全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

『その他事業』セグメントにおいて139百万円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	Eコマース事業				インキュ ベーショ ン 事業	その他事 業	合計		
	グローバ ルコマー ス	バリュー サイクル	エンター テインメ ント	小計					
売上高									
顧客との契 約から生じ る収益	10,763	8,323	975	20,062	—	205	20,267	14	20,281
その他の収 益(注) 1	—	—	—	—	86	—	86	—	86
外部顧客へ の売上高	10,763	8,323	975	20,062	86	205	20,353	14	20,367
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	24	64	0	89	—	353	442	△442	—
計	10,787	8,387	975	20,151	86	558	20,795	△428	20,367
セグメント利 益又は損失 (△)	3,276	△63	△105	3,107	△185	△696	2,225	△800	1,424

- (注) 1. その他の収益には、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号)に基づく営業投資有価証券に関する収益が含まれております。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△800百万円には、セグメント間取引の消去△8百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益244百万円及び全社費用△1,036百万円が含まれております。全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

報告セグメントの『Eコマース事業』のうち「バリューサイクル」に区分されておりました「ブランド・アパレル買取販売事業」および「酒類の買取販売事業」の譲渡が完了したことに伴い、連結の範囲から除外しております。

「バリューサイクル」は、第2四半期連結累計期間までの業績となっております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	151百万円	126百万円
のれんの償却額	60	—